

志津川湾水質分析結果概要

○調査日時 令和7年9月9日

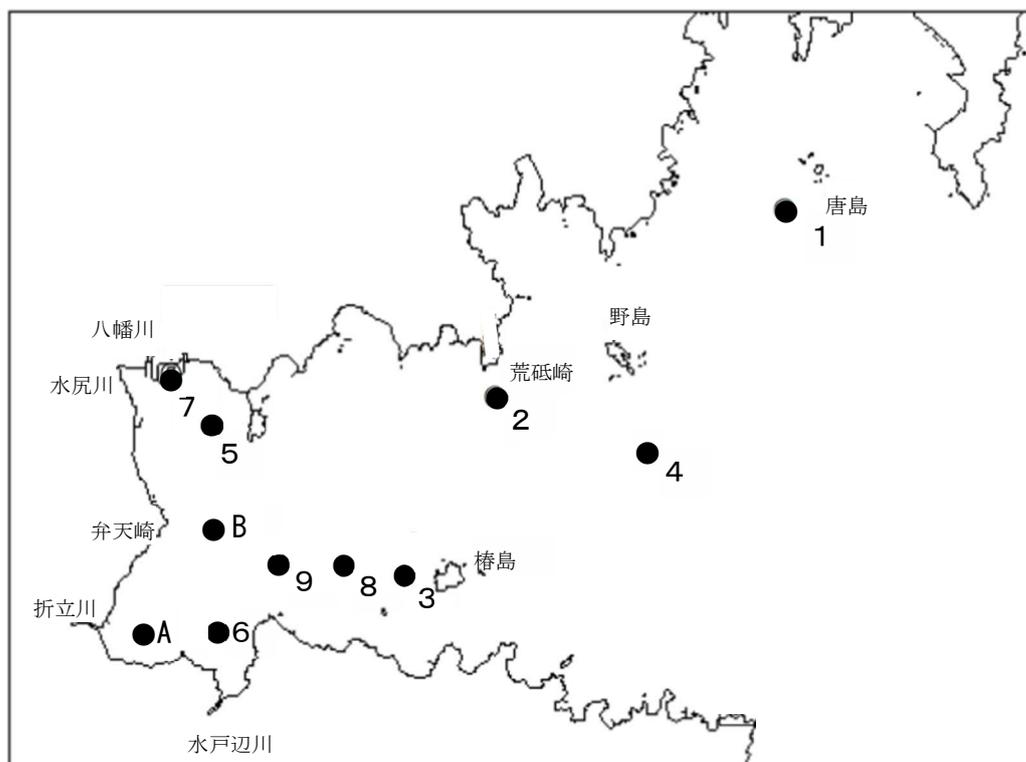
○概要

- 1) 水温：表層で24.7～25.4℃、底層で22.2～25.4℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で31.5～33.1、底層で32.8～33.8の範囲にあった。
- 3) pH：7.85～8.07の範囲にあり、全点で水産用水基準（7.8～8.4）を満たしていた。
- 4) COD：0.2～1.0 mg/Lの範囲にあり、全点で水産用水基準（閉鎖性内湾：2 mg/L以下）を満たしていた。
- 5) DO：5.0～7.4 mg/Lの範囲にあり、一部で水産用水基準（6.0 mg/L以上）を下回ったものの内湾漁場の夏季の水産用水基準（4.3mg/L以上）は満たしていた。

6) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

| | |
|---------------------------------|-------------------|
| リン酸態リン (PO ₄ -P) : | 0.8 ~ 3.5 μg/L |
| アンモニア態窒素 (NH ₄ -N) : | 1.3 ~ 7.8 μg/L |
| 亜硝酸態窒素 (NO ₂ -N) : | 0.6 ~ 1.0 μg/L |
| 硝酸態窒素 (NO ₃ -N) : | 0.1 未満 ~ 8.1 μg/L |
| (三態窒素※) | 1.3 ~ 12.2g/L |

※三態窒素とはアンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の合計です。



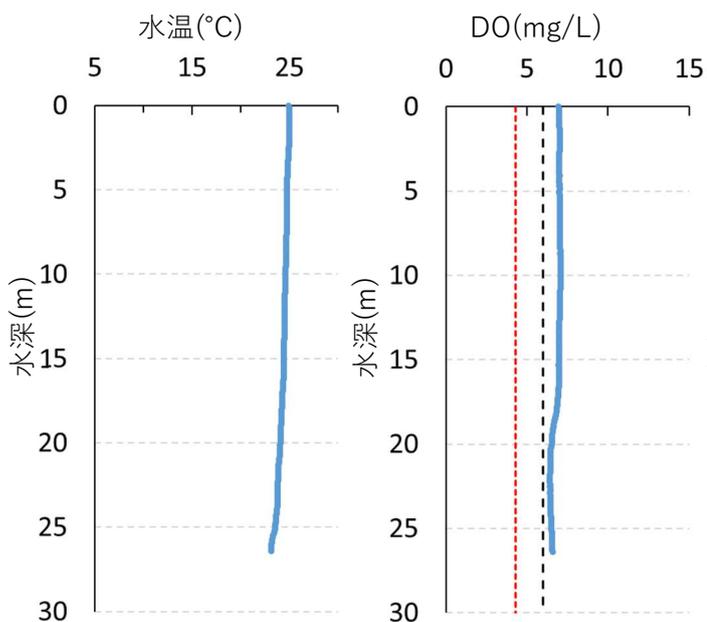
調査点図

○志津川湾各地点での水温・溶存酸素(DO)の鉛直分布

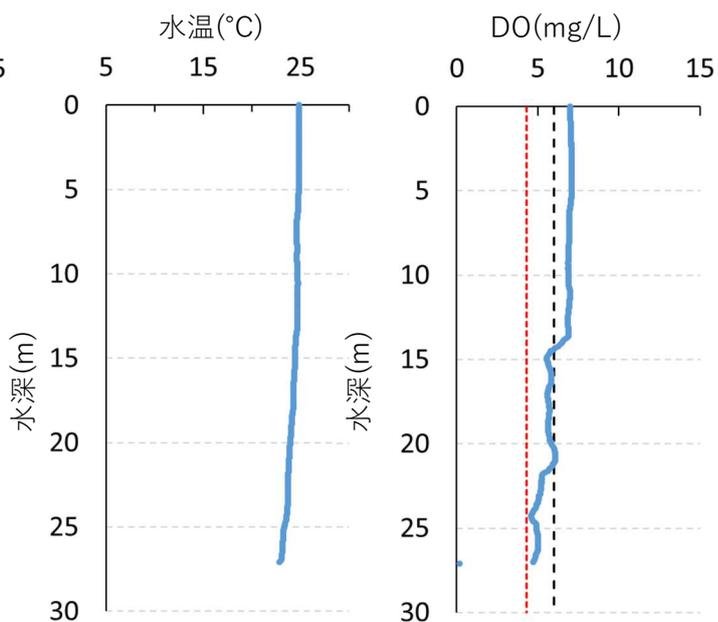
▷各観測地点で表層から底層にかけて水温は22~25℃台でした。

▷S t.3およびS t.5の海底付近で、溶存酸素が水産用水基準(6.0 mg/L以上)を下回りましたが、全地点で内湾漁場の夏季の水産用水基準(4.3mg/L以上)は満たしていました。

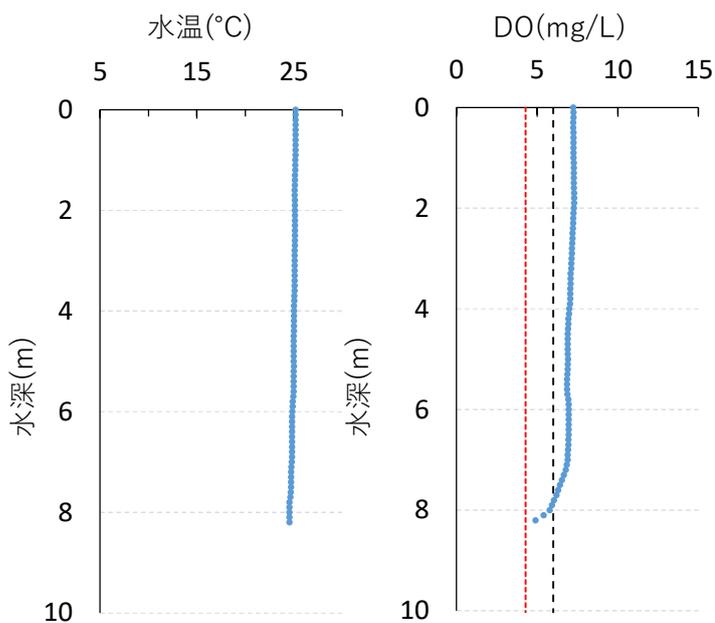
S t.1 唐島



S t.3 椿島



S t.5 大森



--- : 水産用水基準 (6.0mg/L)
 : 内湾漁場の夏季低層の基準 (4.3mg/L)